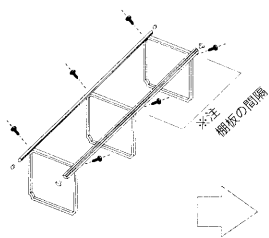
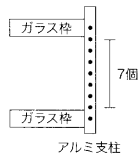


アルボブライクの組立て方 システムシェルフのため、共通の説明書となります。

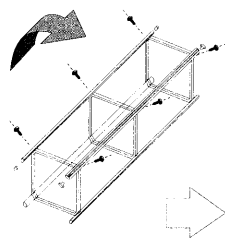
- アルボブライクは横にして組立ててください。連結数に応じて組み方を参照してください。
- 1～3列の組立て (例：3列の場合)



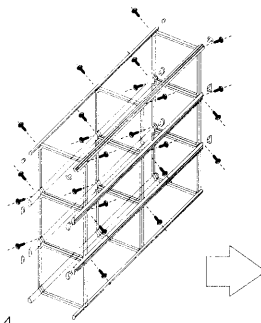
1. 2本の支柱シングルとガラス枠を組み合合わせます。アルミ支柱の上下にキャップまたは受け座を付けてください。取付けないと角が鋭利になっていまして、ケガをする可能性があります。



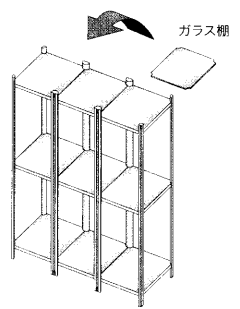
2. 扉を取付ける箇所がある場合ガラス枠間の支柱の穴が7個開く位置にガラス枠を取付けてください。



3. 反転させてさらに2本の支柱ダブルを取付けます。この際、支柱ダブルのボルトは仮締めにしてゆるくしておいてください。アルミ支柱の上下にキャップまたは受け座を付けてください。



4. 2段～3段の連結は、幅方向に積み重ね全てを組んだところで、ボルトを本締めしてください。起こす前に全てのアルミ支柱の上下にキャップまたは受け座が付いていることをご確認ください。

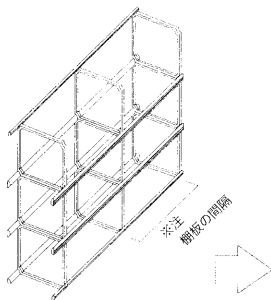


5. 起こして、PUクッションゴムをガラス枠に貼ってください。その後ガラス棚板をガラス枠に載せ、扉があれば取付けて完成です。

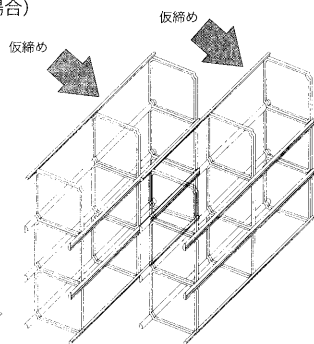
※注

棚板の間隔がD300は支柱の穴が5個以内、棚板の間隔がD450は支柱の穴が6個以内、棚板の間隔がD600は支柱の穴が9個以内の場合は後からガラス棚が入らなくなります。ここでガラス棚をガラス枠にテープ等でしっかり固定してから組立てる必要があります。

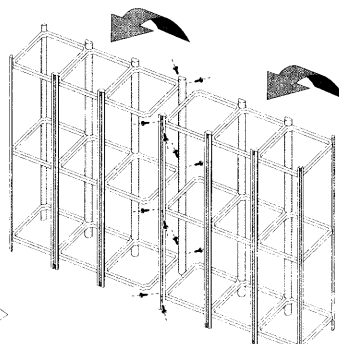
- 4列以上の組立て (例：6列の場合)



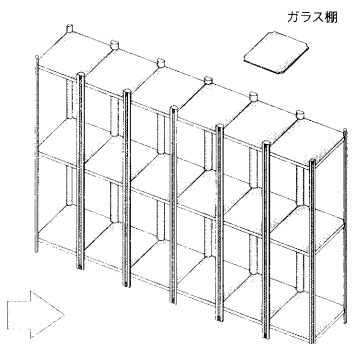
1. 2本の支柱シングルとガラス枠を組み合合わせます。アルミ支柱の上下にキャップまたは受け座を付けてください。取付けないと角が鋭利になっていまして、ケガをする可能性があります。



2. もう一方の組合せを積み重ねて組立てます。支柱が連結する時に、もう一方の組合せの支柱位置と重ならないように注意しこの際3で連結させる支柱ダブルは、仮締めにしてゆるくしておいてください。他はしっかりと本締めしてください。起こす前に全てのアルミ支柱の上下にキャップまたは受け座が付いていることをご確認ください。1～3列の組立ての「2」と同様に、扉の取付がある場合はご注意ください。



3. 起こして連結します。支柱のボルトはすべて組み終わり位置を出してから、ボルトを本締めしてください。



4. 起こして、PUクッションゴムをガラス枠に貼ってください。その後ガラス棚板をガラス枠に載せ、扉があれば取付けて完成です。

※注

棚板の間隔がD300は支柱の穴が5個以内、棚板の間隔がD450は支柱の穴が6個以内、棚板の間隔がD600は支柱の穴が9個以内の場合は後からガラス棚が入らなくなります。ここでガラス棚をガラス枠にテープ等でしっかり固定してから組立てる必要があります。

使用上のご注意

- 安全にご使用いただくため、「使用上のご注意」と「組立説明」をよく読み正しくご使用ください。
- また、これらを保管し必要なときにお読みください。

組立てにあたって

- 組立てには必ず当社の純正部品をお使いください。
- アルミ支柱の切り口や棚板のコーナー部分は、鋭利になっていましてご注意ください。アルミ支柱には、キャップや受け座を必ず取付けてください。
- 組立て後、棚板を追加する場合は、組立てられている棚のボルトをゆるめてから追加してください。柱にキズが付きます。
- アルミ支柱は全て床面に設置するように組立ててください。アルミ支柱は荷重を支えておりますので、しっかり床面に接していないと破壊の原因になります。(右下図参照)
- 組立てる時には、床に厚紙や毛布などを敷いてください。棚板の角や柱で床を傷つけます。
- ボルト、ネジは無理に入れないでください。メス部分がナメます。
- ガラスに衝撃を加えると割れますので、組立ての際には充分にご注意ください。

設置方法

- 地震などで家具が倒れ、けがをする事がありますので必要に応じて壁・天井・床等に固定金物や固定部材で固定してください。
- 高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事がありますので、家具の裏側も空気が流れるように壁から少し離したり、部屋の換気を行ってください。
- 家具は水平を保つように、またしっかりしているところに設置してください。不安定なまま使用していると、扉の開閉がスムーズに動かなくなったり、家具が倒れる事があります。

保守・点検

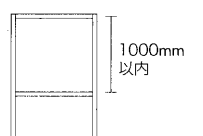
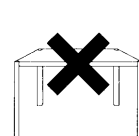
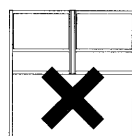
- ボルト類がゆるんでいないか時々点検してください。
- 家具の移動をした場合も点検してください。
- ゆるみ等を発見したら、締めなおしてください。

ご使用にあたって

- 家具の上に立ったり、飛び跳ねたり、踏み台の代わりに使ったり、寄りかかたりしないでください。
- 高い位置にはガラス器などの壊れやすいものは置かないでください。
- 棚板やハンガー、キャスターなどは、耐荷重表記以上のものを載せると壊れる原因となります。
- 扉を同時にいくつも開けたりしないでください。転倒の原因になります。
- 棚の上に鍋等の熱いものは載せないでください。
- キャスターは、連結の場合、サイズが1230mm以内の支柱にお使いください。
- またキャスター使用時、床の凹凸部分にキャスターが引っかかると、必要以上の荷重がかかり、壊れるもととなりますのでご注意ください。
- 組上がった後にシェルフを移動させる場合、必ずガラス棚を一度はずしてから移動してください。

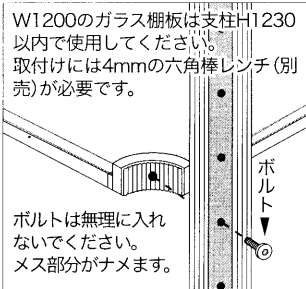
特に注意すべき組合せ

- 図の様にアルミ支柱が床面に設置していないと、破壊の原因となりますので、絶対にしないでください。
- 棚板1枚では強度が不足し使用できません。棚板を1枚以上追加するか三方枠が必要です。
- 棚板2枚でシェルフを組む場合1000mm以内になるようにしてください。

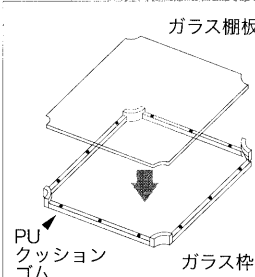


●アルボブライツ組立て方（詳細）

■支柱とガラス棚板の取付

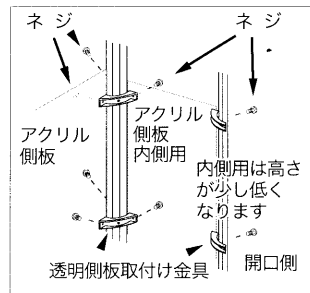


■ガラス棚板

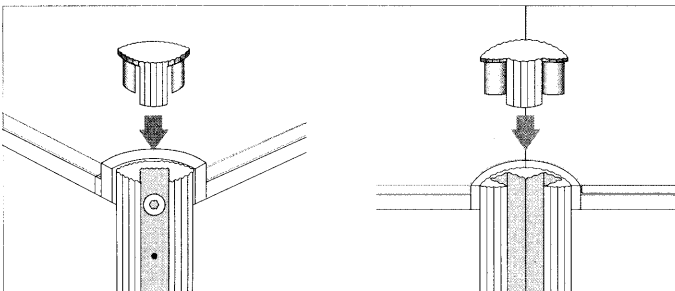


滑りどめのため、ガラス枠にクッションゴムを取付けてから、ガラス棚を載せてください。（W1200は長手方向に4個）ガラス枠を支柱に取付けてからガラス棚を載せませんが、棚の間隔が十分でないとガラスが入れない時がありますのでご注意ください。（詳細は裏面参照）
ガラス枠だけでは、枠自体ゆがんでいますが問題ありません。支柱に枠を取付けてからガラス棚板を載せるとしっかりいたします。

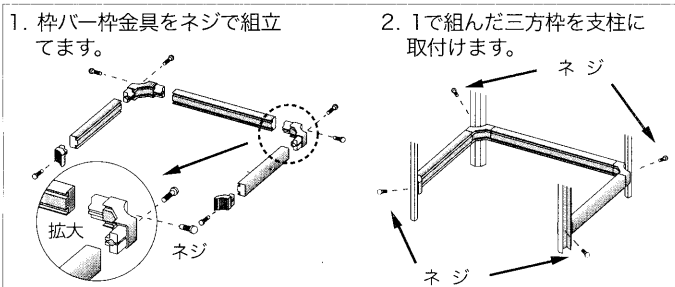
■アクリル側板／アクリル板内側用／透明側板取付け金具



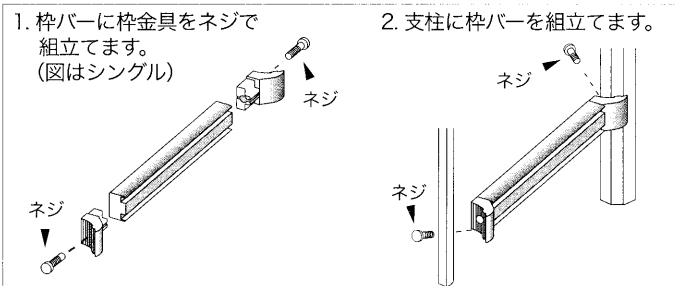
■キャップの取付（シングル）／（ダブル）



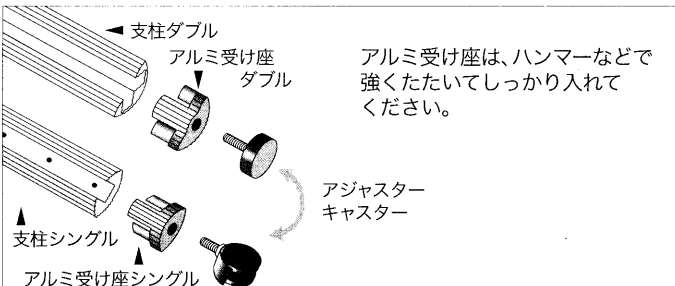
■三方枠の取付



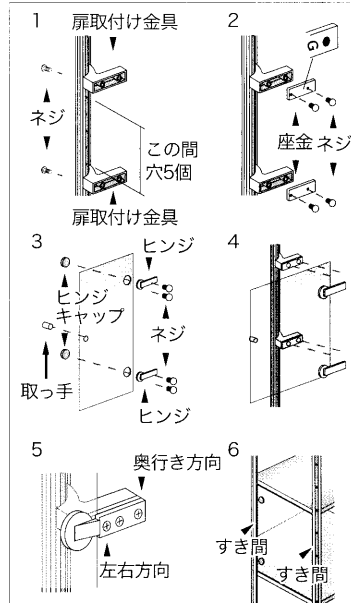
■枠バーの取付



■キャスター・アジャスターの取付

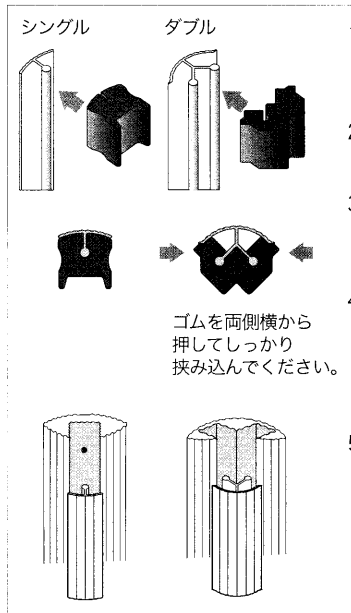


■扉



1. アルミ支柱に扉取付け金具を付けます。ガラス棚を取付ける穴から1つ目の穴に金具を、そこから穴を5つ開けた間隔でもう一つの金具をお付けください。
2. 扉取付け金具にヒンジ座金を取付けてください。（文字「G」が後方になります。）
3. 扉にヒンジ、ヒンジキャップ取っ手を付けてください。
4. ヒンジを座金に取付けます。「カチッ」と音がするのをご確認ください。
5. 上下のヒンジのネジを使って、扉位置を微調整できます。手前のネジが左右方向、奥のネジが奥行き方向にわずかに動かせます。
6. 扉の左右のすき間は、上下のヒンジの左右方向のネジを調整すれば解消できます。

■溝隠しプレートの取付（シングル）／（ダブル）



1. 溝隠しプレートは、アルボを組立てた後に、支柱に取付けてください。
2. 付属のゴム全てを図のように取付けてください。
3. 特にダブルのゴムは、左図のようにしっかりとめ込んでください。
4. 溝隠しプレートを、支柱溝の正面から押し込んで取付ます。この時、ゴムが支柱のボルトに当たらないように調整してください。
5. ダブルは、ゴム部分が溝に収まるように、左右に揺さぶりながら押し込んでください。

■ハンガーの取付

